

教育目標 心身ともに健やかでたくましい 西和佐っ子を育てる

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況	
見て・触れて・感じて・響き合う子供を育てる	心と体で自然を感じ、西和佐っ子を育てる	遊びを通して学べる	<p>遊びの環境の工夫</p> 保護者から100%の評価を得た。今年度も保護者の方々が築山の土あげをしていただき、今年は重機を扱える保護者の方により、普段見れない土あげを子供たちに見せることが出来た。この活動が保護者の方々の年間を通してのボランティア活動として、これからも引き続き行っていく。築山だけでなく、園庭の隅々まで、危険なところの見直しを行い、子供たちが安心して楽しく遊べるようにしていきたい。また、室内も、子供たちにとって魅力ある環境を目指していきたいと考える。	
		大切にしている	<p>友達とかかわる楽しさを味わう</p> 保護者から100%の評価を得た。自分で考えて遊びを選び取り組む中で、異年齢の友達とも自然にかかわる場面がたくさん見られた。気の合う友達と一緒に、時間を気にせず遊び込めることが出来る環境は、子供たちにとってとても大切な時間であると捉えている。また、遊びを通して思いや意見がぶつかることも、何度も経験することによって、相手を思いやる気持ちや、折り合いをつけること、時には譲ることなど、人との付き合い方も学べていると考えている。	
		大切にしている	<p>意欲的、主体的に活動するための十分な時間の確保</p> 保護者から100%の評価を得た。子供たちが自由に遊びや活動を選択できることで、日々満足感を味わっているのではないかと考える。そして十分な時間の確保をしていることで、子供たちの心の安定に繋がっているのではないかと考える。満足感、達成感を味わうことで気持ちを切り替え、クラス全体の活動に移行しても楽しんで取り組んでいる。また、じっくりと話を聞いてもらっていることから、人の話を聞くことも自然にできてきている。それらが、保護者の方々に浸透してきているのではないかと考える。	
		大切にしている	<p>保護者と子供の成長を共有し、連携を深める</p> 保護者から100%の高評価を得た。毎日の送迎の時間に保護者の方々に子供の様子を伝えたり、保護者の方々と顔を見合わせて子供の様子を聞いたりすることで、互いに子供の成長を共有出来ていると考えている。家庭では見られない子供の成長や様子、保護者の方々が気にしている子供の様子など、これからはしっかりと連携を取り、保護者の思いを受け止めながら家庭と共に子供を育てる意識を高め、取り組んでいきたい。	
		大切にしている	<p>地域や小学校・保育所等との連携や交流</p> 保護者から100%の高評価を得た。今年度は、4、5歳児が近所で田植え、全園児で田遊び、年長児が西和佐保育所への訪問をした。小学校とは、1年生との計画的な交流を通し、一緒に遊んだり、授業を見せてもらったりし、小学校への憧れの気持ちが芽生えているのではないかと考える。また、引き続き地域との連携も続け、広げていきたいと考えている。そして子供たちが地域の方々から見守られ、親しみの気持ちをもてるようにしていきたいと考えている。	
		大切にしている	<p>保護者への情報の発信</p> 保護者から100%の高評価を得た。今年度は様々な行事が出来るようになり、遊びの場の環境も変化し続け、子供たちが遊びや生活の中で生まれている様子や行事の様子を伝えることに努めてきた。行事等は、ホームページで出来る限り伝えられるように、また遊びの様子を通して、教師や園の教育観等を玄関に具体的に掲示してきた。これからも園だよりやクラスだより、ホームページの活用などに引き続き取り組んでいきたいと考えている。	
		大切にしている	<p>園内や園庭の環境の工夫</p> 子供たちが遊びたい、面白そうだと思うような場づくり、また子供たちが安心して自ら関わっていけるように園内の環境の工夫に努めている。そして危険な場所がないか等、見回りや職員同士の意見交換を徹底し整備してきた。その結果、子供たち意欲も高まり、遊びも充実出来ているのではないかと考える。保護者から100%の高評価を得ている。引き続き、子供たちの様子をしっかりと見ながら、環境の工夫に努めていきたいと考える。	
		大切にしている	<p>自然への興味関心</p> 保護者から100%の評価を得られた。四季を感じ、自然に関わるような環境の工夫に心がけてきた。季節を感じられるように子供たちと一緒に花や野菜の手入れをし、子供たちは樹木の葉っぱで遊び、ピワ、キンカン、ドングリなどの実が採れた喜びを味わい、じゅず玉遊びや、草むらに虫を見つけ楽しんでいる。樹齢200年のクスノキで木のぼりをし、昨年植え替えたドングリの成長を喜び、また昨年修理してもらったプールでたくさん水遊びをすることが出来た。園内の自然に関心をもっていたのではないかと考える。	
		大切にしている	<p>食育の推進</p> 子供たちが育てたい野菜を選び、楽しみながら栽培に取り組めた。近所の店で買い物体験をし、自分たちで植え、水やりや草引きをして成長を楽しみにしていた。毎日世話をしたり、見たりしているからこそ、採り時もわかってきている。子供が収穫し、持って帰るのか、調理をするのかを自分で決めてきた。また、子供たちが計画し、調理したことも楽しかったようである。保護者から100%の評価が得られたこともその様な活動からではないかと思う。栽培を通して食の楽しさ、大切さを感じられる様に取り組んでいきたい。	
		大切にしている		
		大切にしている		

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

ほとんどの項目に於いて「とてもそう思う・そう思う」の好意的な反応であり、96%から100%の高い評価をいただいた。今年度は、様々な活動が、以前に比べてとても活発になり、出来ることが多くなってきたことで、園生活も活気づいてきたように思う。そして、そのような状況の中での本園の教育に対して、保護者の方々がきちんと評価して下さったのではないかと考える。また、園への関心度の高さも伺える。遊びや環境の工夫については、まだまだ課題も見受けられるが、一人一人の子供たちが興味関心をもって楽しく過ごせる園の環境を目指して、これからも改善改良に取り組んでいきたいと考えている。また、保護者の方々と共に子供の成長を共有していくには、しっかりと発信し、伝え、対話していくことが大切であると考えている。今後も、保護者の方々に安心して預けていただけるように、また本園の教育について理解を深めていただけるように、教職員一丸となって努めていきたい。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は、子供たちが主体的に遊び込めるように、園庭、保育室の遊びの環境の工夫、そして職員の援助の仕方についても話し合いを進めてきた。職員間の情報の共有、子供の援助についての意見交換、また小学校の先生方との意見交換も行ってきた。職員の子供たちに対する合理的配慮も含め、質の高い教育を目指し、職員の研修やものの考え方などについても、これからも進めていきたいと考えている。子供たち一人一人が安心して過ごせるために、子供たちの様子をよく見てその場にあった援助をしていきたいと考える。また、保護者への配慮や援助も必要になってきているのが現実である。このような中でも西和佐幼稚園を選んで来てくれている子供たち、協力的な保護者の方々の思いにしっかりと応えできるようにしていきたいと考える。来年度は、入園児数が少し増えることを喜びながらも、全園児数は以前に比べ減少していることは最大の課題である。これからも質の高い幼稚園教育を目指していきたいと考えている。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

・園児たちが、自由に活動が出来ていることは素晴らしいと思う。これからも幼稚園、保育所、小学校の連携を深めるように、取り組んでほしい。
 ・園の先生たちは、子供たちの園生活での様子に対して課題意識をもちながら見識し、少しの変化も見逃さずに子供たちの成長を見極めている姿が素晴らしいと感じる。また、幼小連携について、表面的な連携や交流に留まらず、教師間の協働による研修の場を大切にしたい取り組みは、子供たちの幸せにつながるダイナミックな取り組みであると感じ、嬉しく思った。職員の高い見識としっかりと見通しをもった考えは、頼もしく感じた。西和佐幼稚園の素晴らしい取り組みを地域や家庭にさらに発信して欲しいと思う。
 ・築山などの遊びを通して、社会性を学べる良い環境になっている。その環境で十分に遊べるようにするためには、職員数が不足しているように思う。また、サポートが必要な子供も多いことから、増員をして安全に遊べるようにしてほしい。
 ・子供たちと一緒に心と体が自然と動き、楽しいひと時を過ごせた。全教職員が育てたい子供像と、その実現のための保育の在り方を共有し、保育に当たっていることが伝わった。そのような園の取り組みがあればこそ、保護者から100%の信頼を得ているのだと感じた。幼児教育の本質をとらえ、真摯に保育に取り組んでいる姿に心打たれる。